



# 京都大学技術士会 第10回大会・特別講演会

日時：令和4年9月10日(土) 14:30～17:30（受付開始は14時から）

主催：京都大学技術士会

会場：京都大学東京オフィス 大会議室A・B及びオンライン講演会

## \*プログラム

14:30～15:00 開会・活動報告

15:00～15:20 「京都大学工学部の現状と課題」

講師：榎木 哲夫 京都大学工学研究科長 京都大学技術士会副会長

15:20～15:50 「新・技術士CPD制度の推進」

講師：中川 裕康 日本技術士会技術士制度検討委員会委員長

15:50～17:10

特別講演：「地球温暖化影響と適応 —我が国の風水害を中心に—」

講師：中北 英一 京都大学 防災研究所長

17:10～17:30 顕彰・閉会

## 中北英一先生 プロフィール



気候変動リスク予測・適応研究 連携研究ユニット ユニット長  
気象・水象災害研究部門 水文気象災害研究分野 教授  
文部科学省 技術参与

1985年 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程中退。同年防災研究所助手。  
2004年 京都大学防災研究所教授。2021年より所長。この間、アイオワ大学訪問助教授、  
国立シンガポール大学客員教授等を併任。

専門はレーダー水文学、水文気象防災学。気象レーダーを用いた豪雨・洪水予測、気候  
変動による災害環境への影響評価に長年携わり、土木工学と気象学を融合した防災研究  
をけん引。NHKスペシャル、クローズアップ現代、日曜討論など多数の番組に出演。

土木学会 水工学委員会 顧問 実践水文システム研究会 理事、事務局長  
国交省 社会資本整備審議会委員、河川管理におけるレーダー活用検討会座長代理  
環境省 中央環境審議会 地球環境部会 気候変動影響評価等小委員会 専門委員  
文部科学省・気象庁：気候変動に関する懇談会委員 などを務めている。

## 講演内容：

近年、雨の降り方が変化して、水害・土砂災害が頻発している。温暖化の影響について気候モデルによる時間ごとの出力値により我が国のハザード・水資源の気候変動影響予測が可能となっている。世紀末にかけて極端現象はよりシリアスになると推測されており、最悪の事態を推測した適応を考える必要がある。今すぐ始めて手戻りのない適応・後悔しない適応が重要である。

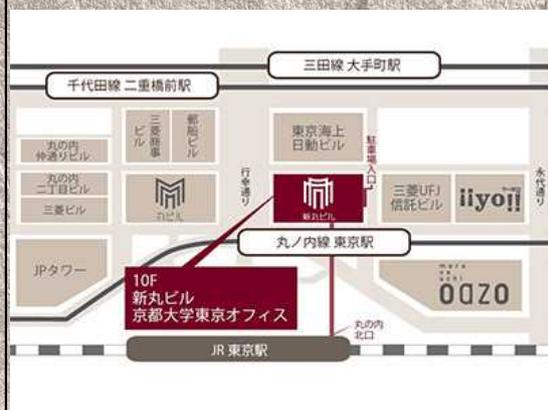
参加人数：会場参加：30名

オンライン：Zoom先着90名、YouTube人数制限なし

参加費：会場参加2000円、オンライン参加無料

- ・京大技術士会の会員に限らずどなたでもご参加いただけます。
- ・会場参加費は当日、受付にてお支払いください。

申込み方法(京都大学技術士会のホームページ <http://ku-pe.net/> のトップページにある「講演会のご案内」から申込みしてください。)



講演会会場：京都大学東京オフィス  
大会議室（新丸ビル10F）  
JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」直結